

日本歯科医学会プロジェクト「口腔疾患に対する禁煙の効果」介入研究 (TISOD) に参加されている施設に勤務の方々へのeラーニング研修(無料)のご案内

主催: 日本口腔衛生学会(禁煙推進委員会)、WHO口腔保健協力センター
 協力・監修: 脱タバコ社会実現歯科研究ネットワーク(口腔9学会合同委員会)

WHO(世界保健機関)が歯科に推奨する新たな禁煙支援法のご紹介



申込 3月23日まで! 3月中開講
 eラーニングの所要時間は約180分



WHOは歯科での標準的な簡易タバコ介入を推奨し、今回、日本での普及をめざします。

WHOがホームページで公開(2017年)

- ①タバコ介入と口腔保健の統合報告書
- ②口腔健康専門家向け手引書を発行
- ③歯科患者向け禁煙実行ガイドを製作

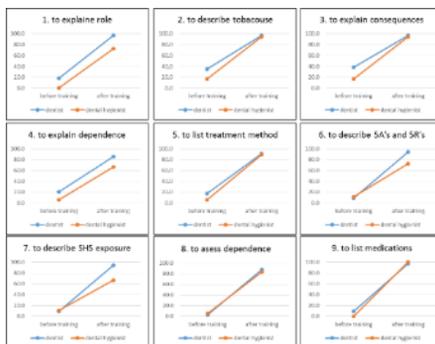
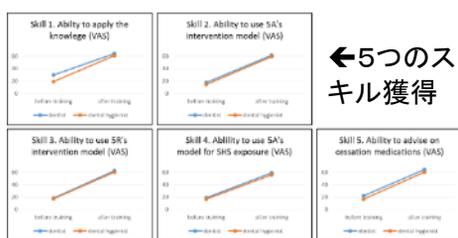
https://www.who.int/health-topics/oral-health/#tab=tab_1



日本(福岡・山口)、タイ王国では、**セミナー形式**のトレーニングの後、効果検証トライアルを実施しました。

<トレーニングの効果>

歯科医師/歯科衛生士別のトレーニング前後の知識とスキル認識の変化 Int J Oral Health, 2017



午前・午後1日のトレーニング(セミナー形式・同時通訳)を**約3時間に圧縮**しました。

ステージ別の対応に疑問がある、患者の抵抗に上手に対応したい、治療の合間の短い時間で禁煙のお世話をしたい、気持ちよく長く通院してもらいたい、と思われる歯科医師・歯科衛生士にお薦めです。

コース選択: コース①マイクロラーニング(23ユニット、1ユニット約7分で構成、スマホ通勤、短時間学習向き)、コース②パワポ学習(10章、デスク視聴者向け)【スマホ向けは一部人工音声にお聞き苦しい箇所があります】

学習内容: ①トレーニングについて ②喫煙と口腔の健康 ③WHO推奨介入の概要 ④質問・助言・準備状況の評価 ⑤動機づけの低い喫煙者への対応 ⑥禁煙支援と調整 ⑦2次喫煙回避の支援 ⑧禁煙補助薬、依存の評価法 ⑨地域のアウトリーチ ⑩新出タバコ(加熱式タバコを含む) 補遺 歯科の役割とWHO推奨の背景

参加資格: 歯科医師/歯科衛生士(開業医勤務者は歯科医師の紹介(氏名)が申込に必要です)
 募集人数: 約100名(先着順受付、3月30日まで開講 [受付は23日まで]、延長はありません)
 参加費: 無料 ※修了者には、システムより修了証が自動で発行されます。



①ウェブで申込み(推奨): 左のQRコードで申込みをしてください。または、<https://ssl.form-mailer.jp/fms/94ee56db655091>

②メールで申込み: nosmoke@college.fdcnet.ac.jp 件名を「WHO歯科禁煙申込」としてください。本文に必要な事項: (1)氏名、(2)勤務先(名称・郵便番号、住所)、(3)電話番号、(4)歯科医師/歯科衛生士の別(開業医勤務の方は紹介歯科医師氏名)

受信後、原則として、3営業日以内に参加の可否もしくはID、PWをメールで連絡いたします。後日、担当から詳細をおたずねする可能性があります、その際にはどうぞご協力のほど宜しくお願いいたします。

問合先: 福岡歯科大学口腔保健学講座 牧園 F/T 092-801-0616 (対応10:00-12:00/13:00-15:00)まで

Email tobazero@college.fdcnet.ac.jp (申込用のアドレスと異なります、ご注意ください。)

本申込で取得した個人情報は適切に管理し、本トレーニングに関する連絡や今後の企画案内に利用します。詳しくは福岡学園「情報セキュリティポリシー」をご覧ください。

この研究開発事業は、日本対がん協会がグローバルブリッジ(Global Bridges)・2020ジャパンプロジェクトとして日本で展開するファイザー・グローバルメディカルグラントの助成を受けています。